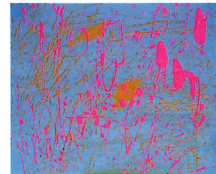


多様性を育む美術展覧会



飯島萌
板垣敦子
大久保潤
大谷重司
おもち
金井亮介
久保貴寛
佐野ウォルフィ
豊永優希
中瀬恵里
根本佳苗
堀越尊
堀越雅也



東京芸術劇場 地下1階アトリエイースト

2023年 **2月21日** (火) - **26日** (日)

2月21日 14:00-18:00
2月22日-25日 12:00-18:00
2月26日 11:00-17:00

東京都北区文化芸術活動拠点 **ココキタ** オープンギャラリー1

2023年 **3月1日** (水) - **18日** (土)

全日 9:00-18:00

共催:公益財団法人北区文化振興財団

入場無料

多様性を育む美術展覧会

本展は、障がいのある人もない人も、幼児も高齢者も誰もが参加でき、お互いの創造性を触れ合いながら、新たなダンスや美術作品、音楽作品をつくっていく。1990年の設立以来、そんなユニークな活動を展開してきたクリエイティブ・アート実行委員会による展覧会です。

東京・北区にある廃校を改修した文化芸術活動拠点『ココキタ』にレジデンス・スペースを構え、これまで絵画や造形のワークショップを定期的開催してきました。2022年6月から2023年2月まで、美術家の西村陽平氏、造形作家の海老塚耕一氏、そして彫刻家の長谷川さち氏を講師に迎え、障がいのある人もない人も、子どもも大人も、共に新しいアートの可能性を探りながら、制作と向き合ってきました。

本展では、そんなワークショップの中で生まれてきた作品の数々を、一堂に展示いたします。

鮮やかな色彩の中に踊る無数の線、異素材の組み合わせが織りなす意外性、触覚との対話によって生み出された有機的なタッチなど、そのどれもが、作家一人ひとりの感性と触覚を通じた「探究の軌跡」ともいえるでしょう。

その成果としての作品をご覧くださいながら、それぞれの表現の中にある多様性との出会いを、ぜひお楽しみください。



ワークショップ講師 プロフィール

絵画 西村陽平 (美術家、日本女子大学名誉教授)

1947年東京都生まれ。東京教育大学教育学部芸術学科卒業。焼成のプロセスを通じて素材の違いを際立たせる作品を国内外で発表した展覧会多数。視覚や触覚、聴覚などの感覚をテーマにした自身の作品制作とともに障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わりワークショップを多数開催している。1977年には日本陶芸展において外務大臣賞受賞。2018年3月まで日本女子大学児童学科教授。2022年令和4年度文化庁長官表彰 受賞。

造形 海老塚耕一 (多摩美術大学名誉教授)

1951年横浜生まれ。多摩美術大学大学院修了。1991年平柳田中賞受賞。2001年第19回現代日本彫刻展一神奈川県立近代美術館賞。2003年タカシマヤ文化賞受賞。世界各国のトリエンナーレに出展。物理的に異なった素材がどのような連節をもち、構造の論理的一貫性をどう獲得するかを意識し制作活動を行う。

長谷川さち (武蔵野美術大学専任講師)

1982年兵庫県生まれ。2006年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了。近年の主な展覧会に、2017年「長谷川さちの彫刻-レイライン」(平塚市美術館)、2021年「すべてのひとに石がひつよう 目と、手でふれる世界」(ヴァンジ彫刻庭園美術館)などがある。可視化することのできない現象や記憶を彫刻作品として制作、展示を行っている。

視覚に障がいのある方のための観覧ツアー

日時: 2月26日(日) 13:00-16:30

場所: 東京芸術劇場 地下1階 アトリイースト

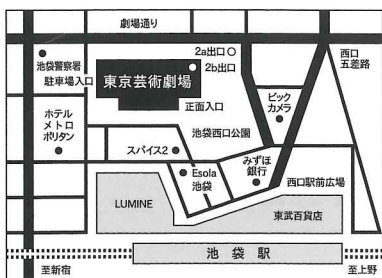
※スタッフが展示作品を案内します。

会場・交通アクセス

東京芸術劇場 地下1階 アトリイースト

〒171-0021
東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線
西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分
(駅地下通路2b出口と直結しています)



東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ オープンギャラリー1

〒114-0003
東京都北区豊島5-3-13

JR浜東北線王子駅、東京メトロ南北線王子駅、都電王子駅前から都バス「豊島五丁目団地・宮城循環・西新井駅前行」にて豊島六丁目あるいは豊島五丁目団地下車 徒歩3分

